

体が、こころが、喜ぶ。

あさ GO

けんこう
健幸

ウォーキングのすすめ

茶すり山古墳往復コース 距離:4.0km

国史跡 茶すり山古墳

— 古代但馬の覇者、ここに眠る —



和田山から山東へ抜ける「宝珠峠」の途中、標高約 144 mの尾根の先端に位置する茶すり山古墳は、5世紀前葉の大型円墳です。円墳としては、近畿地方最大規模を有しています。直径約 90m、高さ約 18mの円墳で、2段に築成されていたと考えられます。調査の結果、墳丘の規模や中心主体の内容がほぼ判明し、中央政権（ヤマト政権）と強く結びついた首長の墓であることが確認されています。棺内から多量の副葬品が出土しました。盤龍鏡など鏡のほか、畿内以外からの出土は極めて珍しい三角板革綴襟付短甲を含む2組の甲冑類。このほかにも、多量の武器が出土しており、ここに葬られた人物が相当な武力を持って、この地域を治めていたことが想像されます。これらの出土品は、古墳時代中期における但馬地域の王国の実態、ヤマト王朝と首長との関係、古墳時代の工芸技術等を知る上で極めて重要なものです。このことが高く評価され、古墳は国史跡、出土品は国重要文化財に指定されました。

※朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」に展示されています。Tel079-670-7330（無料）

休館日 月曜日（祝日の場合を除く）

祝日の翌日（土曜日、日曜日の場合は除く）

12/28～1/4 その他臨時休館があります

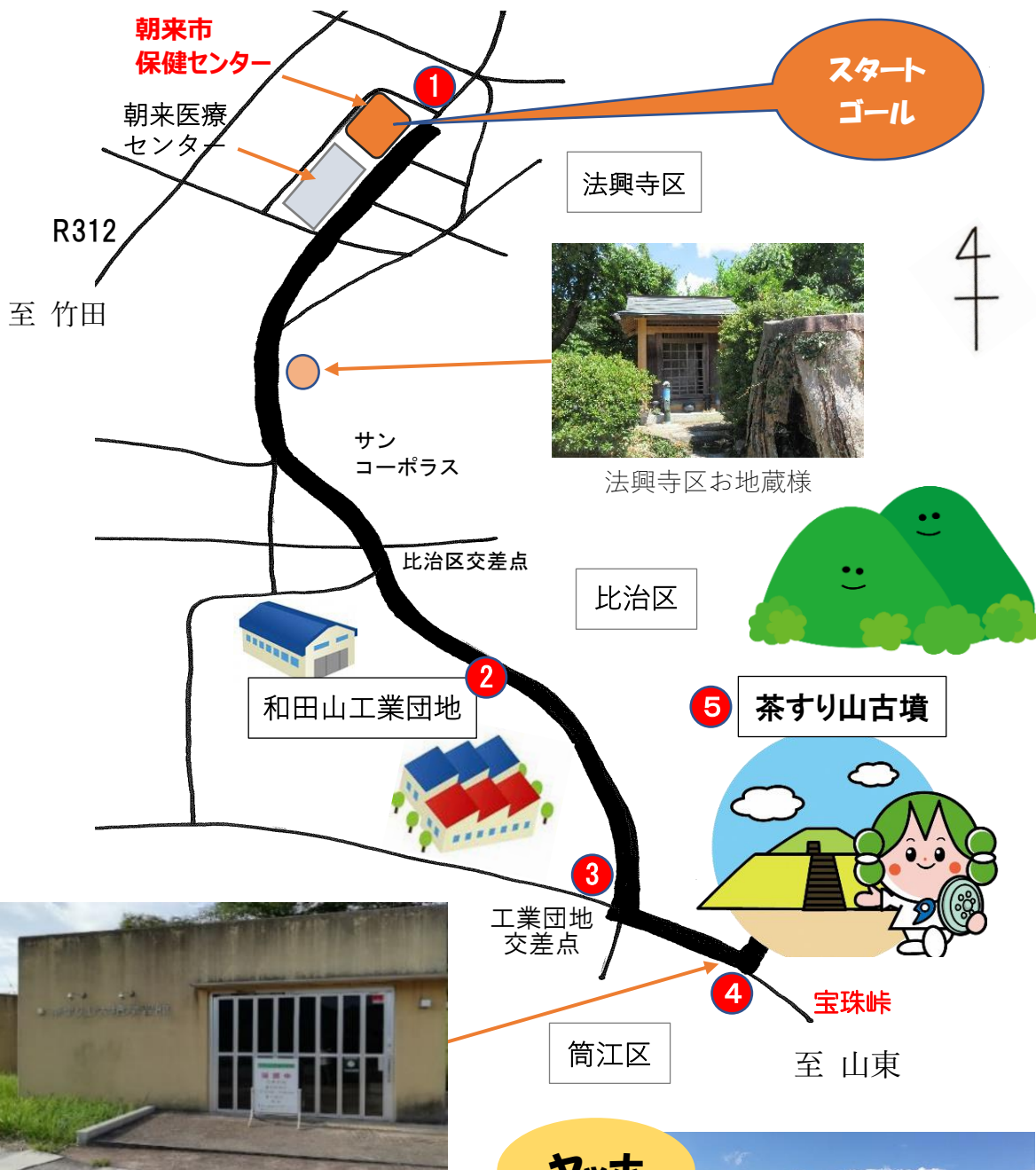


宝珠峠（ほうじゅうとうげ）の由来

その昔、孤狸が往来の人をたぶらかしたというこの峠も、今は車で一瞬の峠道となった。この峠の由来は、「葬り峠」であるとか、境界を意味する「誇示」峠であるとかいわれる。

『朝来志』の大月村（山東町）のくだりでは、宝珠峠を百塚（たくさんの古墳がある場所）として紹介しています。「宝珠峠の南側の丘陵には、古墳が散在し、古墳を掘れば管玉、勾玉や土器が出る。石棺を開けば立派な衣装を着た人が眠っていて、地元の人々はこれをとって腰に巻いた。」貴人たちが多く葬られている峠という意味では「ほうむり峠」が訛ったとか。また管玉、勾玉などの宝物が埋まっている峠という意味では、現在の文字通り「宝珠峠」が由来となるでしょう。

（出典：神戸・兵庫の郷土史 Web 研究館、朝来志）



茶すり山古墳学習館
ここから古墳に向かって
上がっていきます

ヤッホ



コースの紹介

このコースは、坂道を歩くことで高低差を経験していただき、古墳を歩く歴史散策路となっています。高低差のあるコースを歩くことで、血圧の降下や歩幅が広くなる効果があります。古墳頂上では、朝来市の風景を楽しんでください。「ヤッホ」と声を出しながら息をはき出すことで、肺呼吸機能の働きを高め、さらに血液循環を高めることができます。サンコーポラスから比治区交差点の道沿いに、彼岸花の季節には白い彼岸花が咲いていることがあります。

【問い合わせ先】

朝来市健幸づくり推進課 健康増進係

電話：079-672-5269

ファックス：079-672-5369

コースの道順

スタート

- ①朝来市保健センターから出て右に進みます。（土曜日は駐車場が閉まっています）
- ②和田山工業団地の頂上付近まで緩やかな坂が続きます。水分補給の一休み。
- ③工業団地交差点は横断歩道がなく山東方面に行くトラックなどが行きかいますので、横断注意です。山東方面に左折し、左側の路肩を歩きます。
- ④茶すり山古墳学習館が見えたら、古墳の頂上に向かって歩きます。
- ⑤急な坂道のあと、階段を上って古墳頂上に到着です。

来た道を帰ります。
①朝来市保健センターへ

ゴール

